

## 愛知三愛福祉会 決算報告

貸借対照表(2016年3月31日現在)

単位:千円

流動資産	176,404	流動負債	44,829
固定資産	652,476	固定負債	132,138
うち基本財産	563,537	純資産	651,913
うちその他の固定資産	88,938	うち次期繰越活動増減差額	74,849
資産の部合計	828,880		828,880

事業活動計算書(2015年4月1日～2016年3月31日) (単位:千円)

サービス活動増減の部 収益	374,122
サービス活動増減の部 費用	386,538
うち人件費	276,718
事業費	56,436
事務費	35,330
減価償却費	34,915
国庫補助金取崩額	16,862
サービス活動増減差額	-12,416
サービス活動外増減差額	-1,528
経常増減差額	-13,944
当期活動増減差額	-13,614
前期繰越活動増減差額	88,464
当期末繰越活動増減差額	74,849
修繕積立金等積立額	0
次期繰越活動増減差額	74,849

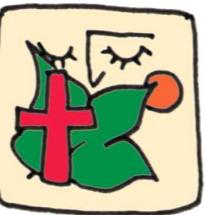
## 三愛後援会報告

三愛後援会 事務局担当 渡邊

三愛後援会は、施設がオープンした直後から、法人の運営する老人介護福祉事業を深い理解と共に感を持って支え、必要な協力と側面からの経済的支援を目的として、キリスト教会関係者や地域の有志を中心に発足いたしました。多くの方々の御支援を得て既に第12期(2015年10月～2016年9月)になりました。毎年会員の皆様から個人年会費3,000円、団体・法人年会費10,000円という年会費制でご協力頂き、皆様のお力を合わせて、施設の介護現場で最も必要とされた備品、住人の個別対応に必要な特殊な介護用品、又住人の生活に楽しみを増すためのレクリエーション用具などの寄贈、又スタッフの介護力向上のための研修費の補助、現場スタッフの日頃の労苦に感謝する気持ちを伝えるためにスタッフ達の親睦食事会への一部費用補助など色々な形で支援して参りました。今では、施設利用者さんや住人の御家族、友人なども後援会員となって下さり130人ほどの会員が与えられています。多くの方々のご協力を心から感謝申し上げます。皆様からの尊いご協力は役員会で慎重に検討した上で、施設と住人のために用いられています。

新たに会員としてご協力頂けましたら幸いです。年会費納入のための振込用紙は法人事務所に備えてありますし、現金での受付もさせて頂いております。三愛後援会の年会費や本会を窓口にした寄付金は、所得税の確定申告時に寄付金控除の対象となりませんが、法人へ直接ご寄付頂けましたら、社会福祉法人発行の寄付金控除証明領収書が発行され、寄付金控除の対象となりますので法人事務所へお声かけ下さい。

今期は既に、ショート・ステイのご利用者さまが各種映像をスタッフと一緒に楽しんで頂くためのDVDプレーヤー、デイ・サービスの利用者さまが落ち着いてゆっくり過ごして頂く特別コーナーのためのテーブル椅子セット、特養住人の居室ベット脇に備え転倒防止のためのセンサーマットなどを寄贈いたしました。



# 三愛だより

第48号 2016年6月

社会福祉法人愛知三愛福祉会  
日進市米野木町南山987-104  
発行者：理事長 池田 曜

2015年度事業総括

愛知三愛福祉会の理念

施設長：大畠美和子



開設13年目の2015年度は社会福祉法人を取り巻く環境や求められる将来像は極めて厳しい1年となった。介護報酬では全体で4.48%の引き下げがあり、大幅な減算となり、マイナス決算だった。今後も介護報酬切り下げ傾向が継続すると予想し、管理者を中心経営への参画を目指したい。同時に業務改善ワーキンググループを立ち上げ、業務の効率化に取り組みたい。2015年度も人財育成に取り組み、職員の研修を計画的に行い資質向上に努めた。特にコンプライアンス(法令遵守)元年と捉え、中堅のスタッフが数名受講し、各会議で伝達報告を行った。法令を守ることにより、愛知三愛福祉会のご利用者にとって理想的な施設、職員にとって働きやすい施設を皆で目指すことを再確認した。今後も学び・考え判断し・実践する研修を目指すものである。

2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、日本は世界に類のない超高齢社会のピークを迎える。超高齢社会において、特養が地域にあることは、その人の状態やニーズに応じた生活支援が可能な一つの選択肢として、包括的ケアシステムの一翼を担わなければならない。3月31日には社会福祉法人の新たな責務として、地域における公益的取組みが法定化された。公益性・非営利性を確保し、地域の課題に取り組み、社会福祉法人としてより一層地域社会に貢献していくことが求められる。

昨年は法人の創立に尽力された尾崎志満子前理事長を天に送った。愛知三愛福祉会のキリスト教精神を基盤にした「三愛精神」を理解し、理念を熟知した職員を長期的に育て、開設14年目を向かえる2016年度も「理念の共有と継承」を高く掲げていきたい。

機能訓練指導員（理学療法士）紹介

のり  
機能訓練指導員：山本式子

4月1日から特別養護老人ホームのぞみで働くかけて頂いています、理学療法士の山本式子（のりこ）と申します。この度、お導きを頂き愛知三愛福祉会の職員として、特養の住人さん、ショートステイのご利用者の為にリハビリをさせて頂くことになりました。病院等で行われるリハビリは、病気や事故などで失われた身体機能を回復させる為に運動療法、物理療法、作業療法等を中心に行われます。

しかし特養におけるリハビリは、生活リハビリという考え方のもと行われています。スプーンやお箸を使って食べること、車椅子を自分でこぐこと、トイレで自分の力で立つこと、そして話しかけると笑顔を返してください。そんな毎日の生活の中で、今出来ることを少しでも長くご自身で行えるような、生活の場に即したリハビリを目指します。身体を動かし、声を出し、そして笑う、動作練習などの生活リハビリにより楽しい時間を過ごし、お一人お一人が穏やかに生活ができるよう支援をしたいと思います。

愛知三愛福祉会の理念を心に、住人さん、ご利用者、そしてご家族の方々が安心して毎日を過ごせますようにお手伝いしていきたいと思っていますので皆様宜しくお願ひ致します。





## オープンガーデン

今年度も4月7日（木曜日）～10日（日曜日）までの4日間  
チューリップ・オープン ガーデンが開かれました。

初日は雨が降り続くなかでもたくさんの方たちがチューリップを見に来られました。2012年から園芸ボランティアによってチューリップが植えられ、施設の住人さんや利用者にもとても喜ばれています。今年も10種類のチューリップがコーディネートされ植えられたお庭は見事でした。2日目からは晴天に恵まれ、空は青く、空気も爽やかで、より一層お花の色が鮮やかでした。

お庭を散策した後はらせん階段を上って3階のカフェへ。

愛知牧場を一望するウッドデッキに座り、コーヒーと手作りのケーキを頂きました。

今年も美味しいケーキを作ってくださった方々には本当に感謝いたします。

特にデイサービスの利用者とスタッフが一緒にケーキを作ってくださってとても良かったです。

施設の皆が参加し、地域の皆様に喜ばれる行事として定着して行けたらと思っています。

又、日進市役所公園緑地課及び環境課の皆様、そして中日新聞にご協力頂きありがとうございました。何より、毎年ボランティアで、さまざまご奉仕をいつも笑顔でなさるボランティアの皆様お疲れ様でした。神様の格別な御恵みが皆様の上に豊かにありますように。



自然のなかに建てられた当施設は季節ごとに変わる美しい風景を見る事が出来ます。

春のさくら、菜の花、チューリップ。夏のひまわり、秋のコスモス等…。

3階のカフェは毎週水曜日のみ・午前10時～15時まで地域の皆様に開放されています。  
どうぞ、どなたでもご利用ください。(その他の曜日は地域交流スペースとしてご利用出来ます)



## 春まつり

4月16日（土）、今年も春まつりが開催されました。春まつりは、住人さん、利用者さんに毎年ご好評を頂いている、いつもと違った昼食を楽しむことが出来るイベントです。

今年もゼネラルフードETCキャラバンの皆様にご協力をお願いし、目の前で揚がった天ぷらや握りたてのお寿司を存分に召し上がって頂きました。

例年は食堂から場所を移し、喫茶や事務所前のフロアを会場として楽しんで頂いていたのですが、今年はインフルエンザの影響を考慮しいつも食堂で召し上がって頂くこととなってしまいました。

しかし、そんな空気を吹き飛ばす力強さと明るさでETCキャラバンの方々に盛り上げて頂き、揚げたての天ぷら、寿司桶に並んだお寿司に歓声が上がったユニットもあったようです。

普段なかなか食が進まない方もこの時ばかりは自分から手を伸ばしてくださったり、いつもは見られない笑顔を見ることが出来たりと「食」の力を実感させられるイベントでもあります。

日々の生活の中、どのようにしたら住人さんや利用者さんが喜んでくださるだろうとスタッフ



で話し合い企画されたこのイベント。皆さんの笑顔を1回でも多く見られるよう、このような機会を増やしていくならと思います。また来年も、チューリップの咲く時期に…。管理栄養士  
佐藤菜甫子

## 居宅介護支援事業所「さんあい」5年目を迎えて

管理者：牛田朝子



※左から加藤・牛田・伊藤

2011年5月に開設した居宅さんあいは、皆様のおかげで、この春5年目を迎えることが出来ました。特養のぞみの相談員をしていた牛田と、グループホームあいわの管理者をしていた加藤の二人での出発でしたが、二人とも在宅介護の実際の状況や制度、サービスを具体的には知らず、ゼロからのスタートでした。しかし、これまでに出会ったご利用者やそのご家族、近隣の、特に東部包括支援センター、愛泉館、愛知国際病院にはご親切に教えていただき、恵まれた地域にいることをあらためて感じた日々でした。

そして、私たちの支えとなったのは、日々在宅で介護をされているご家族、私たちを「頼りにしているよ」と励まして下さる方、病気や不自由と向き合い、生きていらっしゃる全ての人生の先輩方でした。2015年11月には、前理事長をお見送りしましたが、これまでに私たちに示してくださいました理念や歩みもさることながら、ご自宅での丁寧な暮らし、さりげない言葉、病を患われてから介護を受ける身となって示されたお姿は忘れられないものです。

2016年1月に、新しく伊藤を迎え、3人体制になりました。看護師の資格を持ち、介護の経験もある彼女が、これまでの居宅さんあいの不足を上手に補ってくれています。その中でこの5年を振り返りつつ、さらにより確かな支援を専門的に行うため、3月からは特定事業所加算Ⅲを算定することにしました。

私たち居宅さんあいは、愛知三愛福祉会の中では小さな部門ですが、地域と繋がり、法人設立の精神に基づき、人間としての尊厳を大切にし、「住み慣れた地域で、親しい人と、自分らしく暮らす」支援を、これからも続けていきたいと6年目に向かって気持ちを新たにしています。

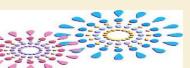


## 三愛「夏祭り」のご案内



日 時	場 所	内 容
8月28日(日) 14時～16時	特別養護老人ホームのぞみ (ピロティ・1階フロア)	※龍桜流やぐら太鼓、盆踊り等 ※三愛だんご、ジュース等

内容等については、変更になる可能性がございますので、ご了承下さい。



## 愛知三愛福祉社会職員募集のご案内

愛知三愛福祉会では現在、常勤の**介護職員及び看護職員を募集**しています。  
経験の有無に関係なく、ご利用者に寄り添ったケアをしていただける方、  
私たちと一緒に働いてみませんか。

求人内容に関する詳細やお問い合わせについては、**TEL: 0561-75-4321 担当: 三吉**  
までご連絡下さい。ご応募を心よりお待ちしています。

